忘れない。3.11

「泊原発の廃炉をめざす会」講演会

泊原発緊急事態！
その時、私たちはどうなる？
― 原発避難計画の検証 ―

原発事故における「避難」とは、放射線による住民の被ばくを避けることが目的である。
そのためには、望ましくは原発から放射性物質が放出される前に避難すべきである。
もし、放出されてしまったら、被ばくを最小限にするように防護措置を講じなければならない。
いずれにしても数時間という単位での迅速な対応が求められる。

上岡直見著：「原発避難計画の検証 このままでは、住民の安全は保障できない」から抜粋

Program プログラム

18:00-18:05　主催者挨拶　**市川 守弘**［廃炉をめざす会・弁護団長］

第1部
18:05-19:05

環境経済研究所（技術士事務所）
上岡直見 さん

profile
- 1977年 早稲田大学大学院理工学研究科修了
  民間企業に勤務、化学プラントの設計・安全性評価等に従事。
- 2002年～ 法政大学非常勤講師（環境政策）
- 2013年～ 環境経済研究所代表
- 2012年『脱原発の市民戦略』緑風出版
- 2014年『原発事故 避難計画の検証』合同出版

休憩15分

第2部
19:20-20:25

「避難計画　各政党はこう考える」

北海道知事選挙を1ヶ月後に控え、
立候補者と各政党に対し、
集会に参加して泊原発の避難計画についての意見を
明らかにするよう呼びかけしています。

20:25-20:30　閉会挨拶　**常田 益代**［廃炉をめざす会・共同代表］

手話通訳あり

資料代500円

2015 3.9 月

かでる2・7［大ホール］
札幌市中央区北２条西７丁目

18:00▸20:30［開場17:30］

〈主催〉**泊原発の廃炉をめざす会**
札幌市北区北8条西6丁目2-23-806　TEL 011-594-8454
E-mail info@tomari816.com　URL http://tomari816.com

〈協賛〉ベクレルフリー北海道／脱原発をめざす北電株主の会／Shut 泊／岩内原発問題研究会／
地方自治を考える市民の会／さっぽろ市民放射能測定所　はかーる・さっぽろ